

今度は **浜松労基署が職場を調査** **更衣室・詰所・点呼の調査**

浜松労働基準監督署は6月6日、浜松運輸区に調査に入りました。東京第一運輸所に引き続き、職場の調査は2回目になりました。

今回は、東京第一運輸所のような社員を指定したヒアリングは行われませんでした。職場の更衣室の調査、詰所と点呼の見学が行われました。点呼において労基署の監督官は、社員が出勤時刻の何分前に出勤してきたのかを気にしていた様子でした。約1時間30分にわたり調査が行われ、乗務員は1時間前に出勤している状況、更衣や乗務の準備のために約10分の時間がかかることが理解されたようでした。

この調査で、J R 東海労が展開している更衣時間を労働時間にする闘いが有効的に進んでいるといえます。

これからも J R 東海労は、更衣時間をはじめ、業務のために犠牲にされている自己の時間を労働時間とする闘いを進めていきます。

**会社はご託を並べず、更衣時間等の
業務関係の時間を労働時間とせよ！**